

2024

# みんなが 安心して 過ごせる 学校に!



教育全国署名に  
ご協力ください



## 各地から届いた成果

- 給食無償化の前進!
- 私学助成の増額!
- 特別支援学校の新設!
- 体育館などにエアコン設置! 公費負担!
- 1年先駆けて小学校6年生の35人学級実現!

2023年



## 先生がいると安心

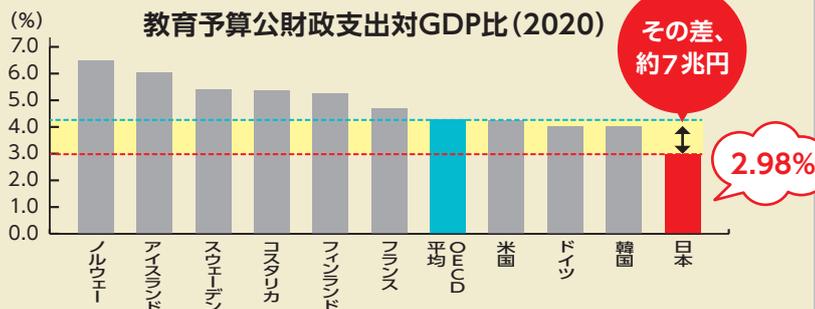
文科省が一昨年発表した「教師不足」調査では、小・中学校、高校、特別支援学校で、教員の未配置がおきていることが明らかになりました。今年度も年度初めから欠員が各地で生じています。子どもたちの安心のためにも、教職員の確保が急務です。



## 教育予算の 増額を!

OECD平均4.28%まで教育予算を増やすと幼稚園から大学まで教育無償化(約4兆円)、30人学級・教職員定数改善・給付奨学金拡充(約2兆円)が実現可能です。

## 教育予算公財政支出対GDP比(2020)



(※OECD2023インディケーター Table C2.3. Total expenditure on educational institutions as a percentage of GDP, by source of funds (2020)より)

## ゆきとどいた教育をすすめる会

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1全国教育文化会館3階  
TEL:03-5211-0123 FAX:03-5211-0124

全教/全国私教連/教組共闘連絡会/全国私学父母懇・私学助成をすすめる会連絡会/全国各地のすすめる会

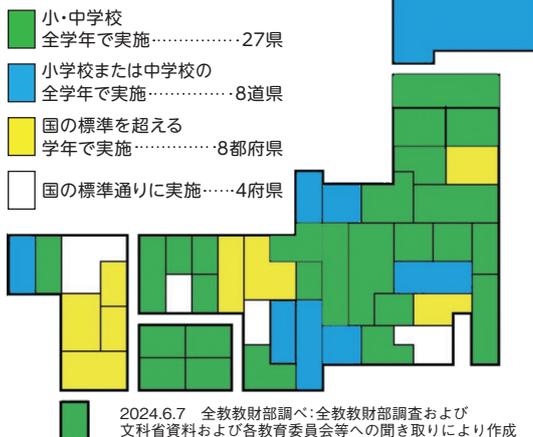
# 国の責任で教育条件の整備を!

## すすめよう少人数学級!

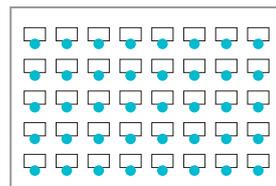
来年度で小学校全学年の35人学級が実現します。しかし、中学校、高等学校は40人学級のままだ。そもそもOECD諸国の平均は1学級20人程度です。20人学級を展望して、小・中・高と、さらなる少人数学級を実現しましょう!

#めざせ20人学級

全国の少人数学級地図 2024



2024.6.7 全教教財部調べ:全教教財部調査および文科省資料および各教育委員会等への聞き取りにより作成



40人



20人

少人数学級なら、子どもたちも授業がわかりやすい! すごしやすい!

## お金の心配なく豊かに学ばせたい、学びたい

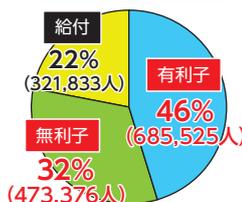
幼稚園入園から大学卒業までの19年間、全て国公立で進んでも学費として1060万円かかります。小中学校を公立で過ごし、他を私学で過ごせば1470万円、全て私学なら文系でも2530万円もの金額です。

大学・短大・専門学校など学生全体の約半数にあたる148万人が日本学生支援機構の奨学金を利用しました。しかし大半が「貸与制」で、卒業後に返済しなければならない「借金」となっています。

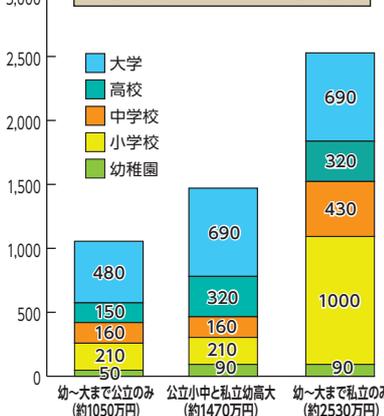
今年は高校就学支援金制度ができて15年目です。しかし2023年度、経済的理由で私立高校を退学した生徒数は62人に上り、前年度の1.8倍にもなりました(全国私教連調べ)。日本が中等教育及び高等教育の無償化を国際的に約束してから12年、国は早く責任を果たすべきです。

公立も私学も無償に。そのためには、学費の無償化、給付奨学金の大幅な拡充、私学助成のさらなる拡充などが必要です。

2021年度 奨学金受給状況 (学生支援機構)



大学卒業までにかかる教育費



出典:文部科学省「子供の学習費調査」(令和3年度)、日本政策金融公庫「教育費負担の実態調査」(2021年度)

## 特別支援学校の 過大・過密の解消を

全国で1000校もない特別支援学校で、3359もの教室が足りていません。そのため、パーティションで部屋を区切る、玄関を教室にする、廊下で体育を行うなど、一時的な対応を強いられているケースが7476もあります。学校の新設や、既存校への設置基準適用、そのための予算措置が急務です。

## 学校や教職員をふやして よりよい教育環境を



現状の特別支援学校は 教室不足が深刻:

## 子どもの個性に寄り添うためにも、せんせいふやそう

子どもたちの登校拒否・不登校が30万人に迫っています。少人数学級であれば不登校児童生徒の割合が減る調査結果も出ています。子どもたちへのきめ細やかなかわりのためにも、少人数学級の実現や、教職員未配置の解消が必要です。

